

令和2年12月発行

広尾っ子応援団だより (No.32)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



重点教育目標を目指す校内研究を公開（豊似小）

豊似小の本年度の「育成を目指す資質・能力」の1つに、「物事を伝え合うために必要な国語を正確に理解し、適切に表現する知識・技能」があり、学校経営計画には、「授業公開を中心にした校内共同研究を推進する」と示されています。

11月25日（水）、町内外の教職員や教育関係者が参加する中で、特設の授業が公開され、研究協議が行われました。また、道教委の指導主事の来校を要請し、特設の授業だけでなくすべての学級の授業を参観してもらい、指導助言を受けました。

【特設授業 1年生国語 ばめんのようすをくらべてよう 「スイミー」】

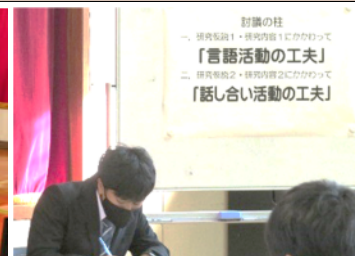


広尾町の3校は大樹町と共同で道教委の「学校力向上に関する総合実践事業」の指定校になっています。研究会には広尾小中の他、大樹町の先生方や教育委員会の方も参加されました。

【解説】校内研究の内容

校内研究では、通常、重点教育目標を具体化する内容が取り上げられます。

広尾町では学校運営協議会における「熟議」「学校運営の基本方針の承認」「学校関係者評価」によって、教職員の専門領域である校内研究の内容や進め方にも、地域住民や保護者の意見が反映されていくことになります。



討論の柱
一、道教委1・2・3の方向性について
「言語活動の工夫」
二、道教委4・5・6の方向性について
「話し合い活動の工夫」

地域の協力で実施された授業

広尾中3年 総合的な学習の時間
単元名「地域学習」

11月26日（木）、授業に協力した村瀬町長や町職員、学校運営協議会委員、高校教職員などが参観する中で、10月から始まった「地域学習」のまとめが行われました。



【CSアンケート調査結果（地域住民）の概要】

前回（H30）との比較では、10の項目で、肯定的な回答が増加し、否定的な回答や「分からない」の回答が減少しました。広尾町公式ウェブサイトにも、すべての項目の他、地域住民と教職員を比較したグラフを掲載しています。（上段：今回 下段：前回）

子どもたちが地域に出て、学ぶ授業が結構ある

学校では、地域の人を招いた授業が多く行われている

学校の授業では、地域のさまざまなことが取り上げられている

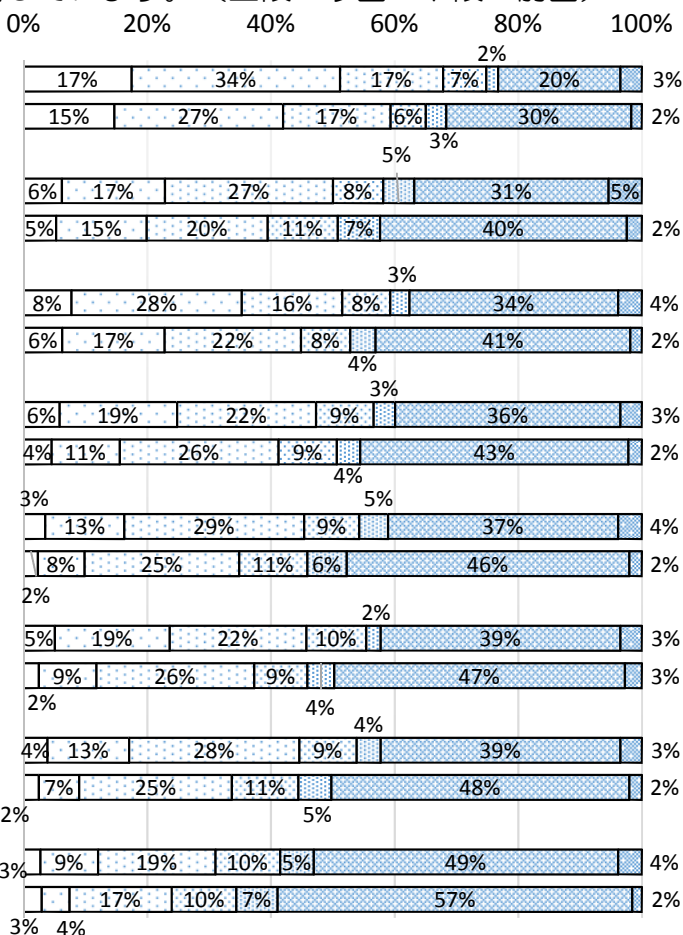
学校は地域の課題に対応した教育活動を行っている

学校の教育活動には、地域の意見が反映されている

学校の授業では、地域の人から取材した内容が活かされている

学校の「育てたい子ども像」に地域の意見が反映されている

学校には、教育に関する地域の意見を積極的に聞く係が置かれている



□ 当てはまると思う

□ やや当てはまると思う

□ どちらとも言えない

□ あまり当てはまらないと思う

■ 当てはまらないと思う

■ わからない

■ 無回答

この他、「子どもの問題や教育について学校と地域がともに話し合う場に参加したことがある。」「学校の教育目標（どのような子どもを育てようとしているか）を知っている。」でも同様の変化がありました。